



# 『活きている ことわざ』

【事務所】

船橋市議会議員（無所属・5期）

船橋市前原西8-24-8

神田廣栄（かんだ ひろえい）市議会報告

☎047-490-3333

Fax 465-7117

【所属】市民民主連合（代表）・文教委員会

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

【役職】(元)第60代議長・(現)予算決算委員会委員長 ホームページ <http://www.hiroei.jp>

## 過(あやま)ちては改(あらた)むるに憚(はばか)ること勿(な)れ

◇過ちを犯したら、体裁などを気にせずすぐ改めるべきだ、ということ。

《類句》It is never too late to mend. (改めるのに遅すぎることはない)

《参考》孔子は「過ちて改めざる、是を過ちと謂(い)う」(論語・衛霊公)とも、「過ちを忒(ふた)びせず」(論語・よう也)とも説く。

明けましておめでとうございます。今年は特に穏やかな年末年始でした。しかし、ウクライナでは新年のお祝いに「ならず者国家のロシア」からミサイルを打ち込まれ、多数の民間人が犠牲になり、北朝鮮は日本海に向けてミサイルを発射するなど、心の痛むスタートでもありました。

正月早々に市民の方から「政府は軍事費増加のために、増税しようとしているが、旧統一協会のみならず、日本の神社・寺院等の無税政策を改めて、課税することから始めたらいいのではないか」「パートさんたちの103万円の壁を無くさないで、働きたくても調整して働けない人がいっぱいいる。限度額を引き上げるか撤廃するようにできないか」と、国会議員に要望して欲しいと言われました。我々が知り得ない事由があるとは思いますが、国の議員さんは、切なる国民の声を聞き、改革すべきは改革してもらいたいです。



さて、令和4年12月議会は、昨年12月23日に閉会しました。まず申し上げたいのは、某テレビ局が11月28日から12月6日の議案質疑・発議案質疑・一般質問をしている本会議を撮影・録音したいと議長宛てに許可願いを出し、連日2～3台のカメラで撮影していたことです。提出されたその目的は「コロナ禍及びコロナ禍後の行政運営について、どのような質疑応答があるか」という立派なものでした。しかし、真のねらいは、よく面白おかしく報道している「居眠り議員」「内職仕事している議員」「旅行雑誌等を見ている議員」等を写すのではないかと考えています。内職したり雑誌を見ている議員は論外として、おしかりを受けるとは思いますが、居眠りとまでいかななくても、質疑している約2時間の間、椅子に座っていると眠気に襲われるのは体験しています。

東京都の区議会や各地の県議会、市議会での醜態を報道していたのを見たことがあります。船橋市議会の議員各位も緊張することは良いのですが、万一に備え眠気覚ましの飲料水を買って求め、地下の売店ではこの飲料水が良く売れました。

私は12月6日の一般質問の大トリで質問に入る前に、連日カメラを向けていたカメラマンに「お疲れさまです」と言いつつ「撮影許可願いの目的外使用をしないように」クギを刺しました。詳細は当日の議会中継の録画をご覧ください。

いろいろありましたが、質問はちゃんとし、今号は、その中の一つを掲載しました。イチフナサッカー部の飲酒問題について

折しも、サッカーのワールドカップに出場したサムライブルーの日本チーム。決勝ト



ーナメントに駒を進め、ベスト8を目指しましたが、残念ながら1回戦で敗退してしまいました。その色と酷似しているユニフォームのイチフナブルーの市立船橋高校サッカー部は全国的に有名です。市船は、バレー、バスケット、野球等も全国にその名を轟かせています。以前は男子女子マラソンも強かった。そして、日本のみならず世界にその名を轟かせている体操の選手も何人もいます。



何回も全国高校サッカー選手権に出て優勝を経験し、今年も10年連続で千葉県大会決勝に進んだ市船サッカー部が、決勝戦直前に部員の飲酒問題が報じられました。小さな記事で見逃した方もおられると思いますし、今更この件は触れないで欲しいと思っている方も大勢おられると思いますが、「愛する船橋」の船橋市議会議員として、決して良い気持ちではありませんが敢えて触れさせて戴きました。

このような不祥事があつたら、例えば高校野球なら、決勝戦を戦うどころではなく辞退しているはずです。市船が決勝戦で破れ、全国大会に行けなかったのは大変残念でしたが、私は、むしろ負けてしまったことが幸いだったのではないかと考えています。

何故なら、もし決勝戦で勝って全国大会に駒を進めていたら、この不祥事を全国から非難バッシングを受けてしまい、選手・部員は二重三重の苦しみを味わうことになっていたと思うからです。

質問① そのようなことが想定されるし、サッカー部の選手・部員のことを思えばこそ、私は県大会の決勝戦は辞退すべきではなかったか、と思いますが如何でしょうか。

→ 学校教育部長の答弁

今回の件につきましては、議員の皆様、市民の皆様はじめ多くの方々にご迷惑とご心配をおかけいたしました。大変申し訳ございませんでした。

本件につきましては、状況が把握できた段階で、直ぐに校長から大会主催者等に報告し、出場の可否も含めた対応策について確認を行いました。

大会主催者から「要項に則って大会は開催する」と指示を受けましたことから、校長として、当事者に対して特別な指導を行い、チームの辞退ではなく、今まで頑張ってきた生徒で決勝に出場させたいという考えを尊重し大会に出場したところです。

質問② 当事者はもとより、他の選手・部員、しいては市立船橋高校生徒の将来のために最善の対応を望みますが、どのように考えておられますか。

→ 学校教育部長の答弁

学校は直ぐに事実確認を行い、学校全体の問題ととらえ、指導を行っております。また、当事者だけに限らずサッカー部内全員で情報を共有し、再発防止に努めております。

一般生徒に対しても、報道に対して過剰な動揺が発生しないよう、生徒個々の変化を

見逃さないという強い意識を持ち、教職員共通理解のもと努めております。今後も引き続き健全な高校生活が送れるようサポートしてまいります。教育委員会といたしましては、校長としっかり連絡をとり、学校からの相談や要望に応え、市立船橋高校の生徒が充実した学校生活をおくれるよう取り組んでまいります。



◎辛い質問でしたが、着飾った言葉ではなく真剣に再発防止に努めてもらいたい。上層部の猛省と生徒のケアに力点を置いてもらいたいです。市立船橋高校・生徒のために。